

(様式2)

令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和4年12月6日

国際交流推進センター長 殿

事業責任者(申請者)

所 属 肥前セラミック研究センター

職 名 助 教

氏 名 HAO DONG

下記のとおり令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業の実施結果について報告します。

1.国際研究集会名	国際セミナー『伝統的磁器の最近の発展』		
2.事業責任者 (申請者)	HAO DONG	3.所属・職名	肥前セラミック研究センター・ 助教
4.開催期間	令和4年12月5日～令和4年12月5日		
5.申請区分	A) 学術交流協定(大学名) B) 共同研究 C) 一般		
6.参加者数 ※参加者名簿(別添) を添付	参加者数 86名 内、 <u>外国人数 59名</u> 、 <u>研究者数 33名</u> 、 <u>学部学生数 17名</u> 、 <u>修士以上学生数 36名</u>		
7.招待講師	所 属 フランスフランスソルボンヌ大学 職 名 教 授 氏 名 Philippe Colomban (フィリップ・コロバン)		
8.支出額	金 額 30,000 円 【内訳】 謝金 30,000 円 旅費 円 消耗品費 円		
9.国際研究集会の内容	◆日時: 令和4年12月5日(月曜日)16時00分～18時00分 ◆場所: オンライン Web 配信(Webex) ※ お申込みいただいた際に、接続用 URL 等をお送りさせていただきます。		

◆主催：佐賀大学肥前セラミック研究センター
共催：景德鎮陶瓷大学考古文博学院

◆発表言語：英語

◆参加方法：参加費無料(事前申込みが必要です。[こちら](#)からお申し込みください。)
申込み Forms: <https://forms.office.com/r/WLb4EUtBsZ>

◆プログラム：

16:00-16:05 開会挨拶
矢田光徳・佐賀大学肥前セラミック研究センター長/教授

セッション 1 司会：海野雅司・佐賀大学工学部, 肥前セラミック研究センター教授

16:05-16:45 講演 1 「エナメル工芸品のオンサイト(ラマン)非侵襲研究:技術交流の流れを たどる」
講師：フィリップコロバン (Philippe COLOMBAN)・フランスソルボンヌ大学
教授、フランス国立科学研究センター(CNRS)名誉所長/教授

セッション 2 司会：呉軍明(Junming Wu)・景德鎮陶瓷大学考古文博学院副院長/教授

16:45-17:20 講演 2 「景德鎮青花磁器の緋色」
講師：李其江(Qijiang LI)・景德鎮陶瓷大学古陶瓷研究所准教授

17:20-17:55 講演 3 「近赤外励起の発光による磁器釉薬の新しいプローブ」
講師：藤澤知績・佐賀大学工学部准教授

17:55-18:00 閉会挨拶
陳寧(Ning CHEN)・景德鎮陶瓷大学考古文博学院院長/教授

※ 各講演後、質疑応答 10分

10.事業実施による成果・今後の事業の発展等

肥前セラミック研究センター主催による 2022 年度国際セミナー『伝統的磁器の最近の発展』を 2022 年 12 月 5 日にオンラインにて開催し、大学教職員、学生、肥前地域関連する窯業技術者、中国景德鎮陶瓷大学、南開大学など、延べ 86 名が参加しました。

このセミナーは肥前セラミック研究センターが本年度に開催した第 2 回目の国際セミナーであり、景德鎮陶瓷大学考古文博学院との共催で行いました。フランスのソルボンヌ大学のフィリップコロバン (Philippe COLOMBAN) 教授、景德鎮陶瓷大学古陶瓷研究所の李其江 (Qijiang LI) 准教授と佐賀大学工学部の藤澤知績准教授は、「伝統的磁器の最近の発展」をテーマとした陶磁器のサイエンスに焦点を当てた講演を行いました。参加者は、ラマン分光法等による陶磁器の非侵襲分析研究、景德鎮の青花磁器に関する最新の研究状況を理解することができました。

本センターでは今年度より陶片・陶石の分析研究を本格的に始めました。このセミナーにより、将来に向け、景德鎮陶瓷大学考古文博学院とソルボンヌ大学との国際共同研究の可能性が生まれました。また、

国際セミナーを通して、肥前セラミック研究センターの影響力を拡大し、国際的なセラミック研究ネットワークの構築、人材育成、地域の発展に貢献することができたと考えています。

今後ますます、肥前セラミック研究センターは国際セミナーや国際シンポジウムの開催を通して国際交流を深めてまいります。

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。